

Cisco IOSソフトウェア TCP 最初のシーケンス番号ランダム化の改善

severity	アドバイザリーID : cisco-sa-20010301-ios-tcp-isn-random	CVE-2003-1230
	初公開日 : 2001-03-01 02:00	1230
	バージョン 1.3 : Final	CVE-1999-0077
	回避策 : Yes	0077
	Cisco バグ ID :	CVE-2001-0328

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOS[®] ソフトウェアはその欠陥が割り当て TCP 最初のシーケンス番号の正常な予測含まれています。

この脆弱性はルータおよびスイッチを on Cisco 実行する Cisco IOSソフトウェアのすべてのリリースバージョンにあります。それは影響を受けた Ciscoデバイス自体で起きるか、または終端させる TCP 接続のセキュリティだけに影響を与えます;それは 2 つの他のホストの間で影響を受けたデバイスを通して送信中に転送される TCPトラフィックに適用しません。

脆弱性を取除くために、Cisco はすべての影響を受けたプラットフォームのための無償ソフトウェアアップグレードを提供しています。問題は DDTS レコード CSCds04747 に説明があります。

回避策はネットワークのまたは直接個々のデバイスの境界で造られた IPソース アドレスが含まれているフィルタリング トラフィックによって利用できますこと脆弱性の制限または拒否不正利用の成功。

この表記は <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20010301-ios-tcp-isn-random> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

脆弱性は Cisco IOSソフトウェアの該当するリリースを実行するすべての Ciscoルータおよびスイッチにあります。

デバイスに Cisco製品、ログインで動作するソフトウェアを判別し、システムバナーを表示するためにコマンド「**show version**」を発行するため。Cisco IOSソフトウェアは「 」としてそれ自身をまたは単に「IOS tm」識別します。出力次の行で、イメージ名は「バージョンに」先行しているかこと IOSリリース名の間で表示する。他の Ciscoデバイスに" show version " コマンドがありませんまたはために別の出力を与えて下さい。

次の例は C2500-IS-L のインストール済みイメージ名前と IOS リリース 12.0(3) 実行する Cisco製品を指定したものです:

```
Cisco Internetwork Operating System Software IOS (TM)
```

```
2500 Software (C2500-IS-L), Version 12.0(3), RELEASE SOFTWARE
```

該当する IOSソフトウェアリリースを実行するかもしれない Ciscoデバイスは含んでいますが、に制限されません:

- 800、1000、1005、1400、1600、1700、2500、2600、3600、MC3810、4000、4500、4700、6200、6400 NRP、6400 NSP シリーズCiscoルータ。
- ubr900 および ubr920 ユニバーサル ブロードバンドルータ。
- Catalyst 2900 ATM、2900XL、2948g、3500XL、4232、4840g、5000 の RSFC シリーズスイッチ。
- 5200、5300、5800 シリーズ アクセス サーバ。
- Catalyst 6000 MSM、6000 Hybrid Mode、6000 Native Mode、6000 Supervisor Module、Catalyst ATM Blade。
- RSM、7000、7010、7100、7200、ubr7200、7500、10000 ESR および 12000 GSR シリーズCiscoルータ。
- DistributedDirector。
- Catalyst 8510CSR、8510MSR、8540CSR、8540MSR シリーズ スイッチ。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOSソフトウェアを実行しないし、この表記に説明がある脆弱性から含んでいる影響を受けないシスコ製品は、に制限されませんが:

- Cisco PIX Firewall。
- CBOS を実行しているルータの Cisco 600 ファミリー。
- ホストベースの ネットワーク管理かアクセス 管理 プロダクト。
- Cisco IP Telephony およびテレフォニー管理用ソフト (脆弱 な IOSプラットフォームでホストされる) それらを除いて。
- 音声ゲートウェイおよびコンバージェンス製品 (脆弱 な IOSプラットフォームでホストされる) それらを除いて。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.3	2004- January- 07	IOS 11.2SA のためのソフトウェア テーブルの訂正されたタイプエラー
リビジョン 1.2	2001- March- 07	正しいバージョン番号との修正されたソフトウェア物語
リビジョン 1.1	2001- March- 02	正しいバージョン番号が付いている修正されたソフトウェアテーブル
リビジョン 1.0	2001- March- 01	初版リリース

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。